

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第26週〔6月28日～7月4日〕

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

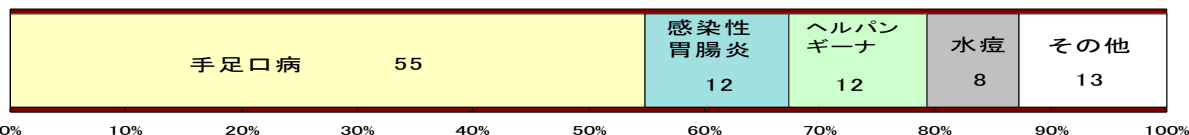
○ 患者情報総評

警報発令疾患：手足口病

注意報発令疾患：ヘルパンギーナ

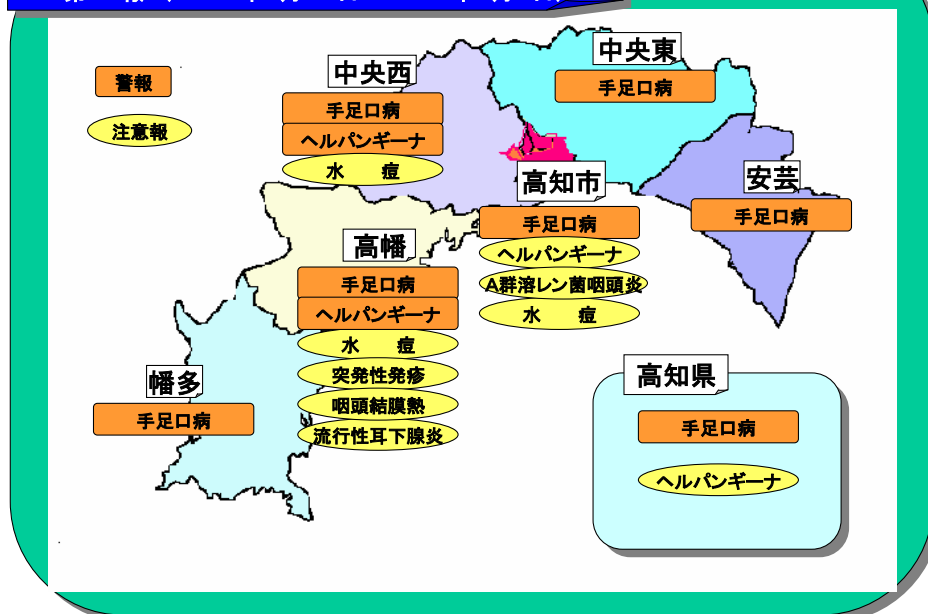
- ・ 天気の移り変わりが激しく、湿度の高い蒸し暑い日が多かった。
- ・ 手足口病（高知市：警報→警報，高幡：警報→警報，中央西：警報→警報，中央東：警報→警報，幡多：注意報→警報，安芸：注意報→警報）は全ての地域で増加し，総数はさらに増加した。
- ・ ヘルパンギーナ（中央西：警報→警報，高幡：警報，高知市：注意報→注意報）は安芸と中央西で減少したが，その他の地域で増加し，総数は引き続き増加した。
- ・ 水痘（中央西：警報→注意報，高幡：注意報→注意報，高知市：注意報）は前週増加し，推移に注目されたが，高知市を除く地域で減少または横ばいとなり，総数は大幅に減少した。

上位疾患構成図



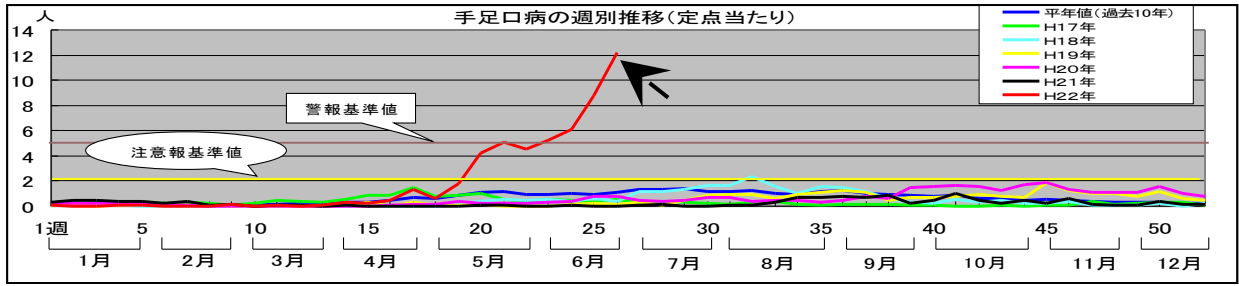
地域別感染症注意報・警報発生状況

第26報（2010年6月28日～2010年7月4日）



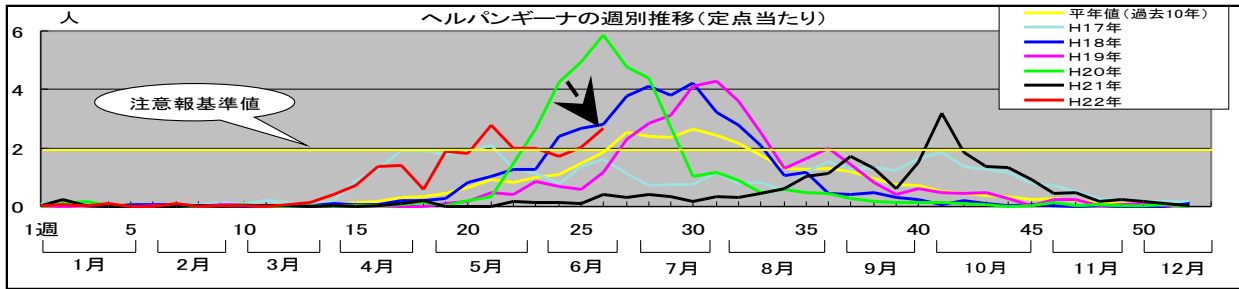
手足口病：今週12.23（注意報値：2.00 警報値：5.00）

総数はさらに約1.4倍に増加した。近年にはみられない大流行で、昭和56年の調査開始以来、昭和63年（ピーク時：18.97）、昭和60年（同：14.52）に次ぐ報告数となっている。前週の全国データでは、大分県(9.67)、山口県(9.12)に次ぐ報告数（第25週：8.77）となっており、全国平均(2.56)を大きく上回っている。また、搬入された検体からは、Enterovirus 71が22件検出されている。このうち1件は、無菌性髄膜炎と診断された患者も含まれている。手洗い等の感染予防を充分に行い、感染した場合には発症児の経過を注意深く観察し、合併症に対する警戒を行う必要がある。



ヘルパンギーナ：今週2.73（注意報値：2.00 警報値：4.00）

総数は引き続き増加し、中央西と高幡では警報値を超し、高知市では注意報値を超している。夏型疾患であり、過去のデータをみると年により流行のピークが6～10月となっており、今後さらに増加することも考えられるので、注意が必要である。



○ **検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
22	ヘルパンギーナ	3ヵ月男	高幡	Coxsackievirus A2
23	ヘルパンギーナ	1歳男	高知市	Coxsackievirus A2
23	急性気管支炎	4歳女	高知市	Coxsackievirus A2
23	ヘルパンギーナ	3歳男	高幡	Coxsackievirus A5
24	咽頭結膜熱	1歳男	高幡	Adenovirus 2
25	嘔吐下痢	10ヵ月男	高幡	Sapovirus
26	肺炎	8ヵ月女	高知市	Parainfluenza virus 3
26	気管支炎	7ヵ月男	高知市	Human bocavirus (HBoV)
26	マイコプラズマ肺炎	9歳男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

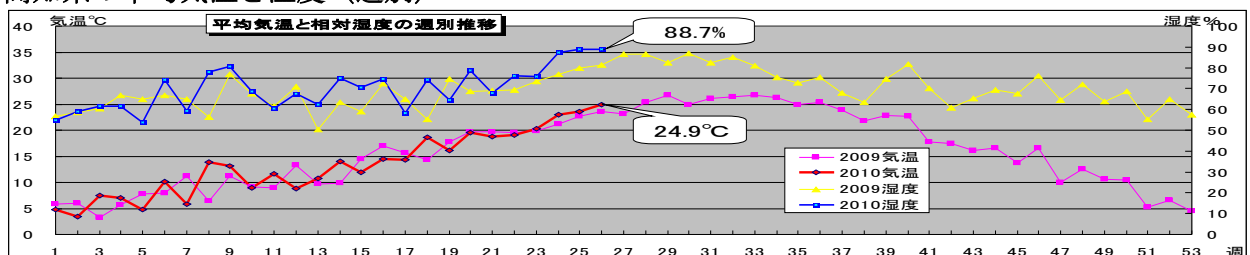
「Enterovirus 71」の検出状況（23～26週搬入分）

地域	臨床診断名	年齢								総計			
		1ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	1歳	2歳	3歳	5歳		6歳	7歳	8歳
高知市	手足口病						1	2	1	1			5
	無菌性髄膜炎							1					1
	感染性胃腸炎	1											1
中央東	手足口病						2						2
	川崎病		1										1
高幡	手足口病			1	1	2	1		2	1	1	1	10
	ヘルパンギーナ					1							1
	咽頭結膜熱								1				1
総計		1	1	1	1	3	4	4	3	2	1	1	22

○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 7例（87歳男）《幡多》（80歳女）《高幡》（86歳女）《安芸》（76歳男, 71, 81歳女）《中央東》（25歳女）《高知市》（今年76例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《渭南病院小児科》：アデノウイルス感染症 1例（1歳男）
《さたけ小児科》：膿痂疹 2例（4,5歳女） アデノウイルス感染症 1例（0歳男）
ヘルペス性歯肉口内炎 1例（1歳女）

高幡：

《もりはた小児科》：手足口病の流行が続く マイコプラズマ肺炎 2例（5歳男, 6歳女）

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：水痘の1例（2歳男）は須崎市
手足口病の1例（3歳男）は須崎市, 2例（3,5歳女:いの町）は姉妹

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：カンピロバクター腸炎 1例（12歳女）
アデノウイルス扁桃炎 1例（6ヵ月男）
百日咳の1例（12歳男）は東浜株320倍, 山口株640倍, 予防接種4回済み

中央東：

《吉本小児科皮膚科》：マイコプラズマ肺炎 1例（4歳男）
《早明浦病院小児科》：手足口病流行中

全国情報第24週（6/14～6/20）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核328例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症128例（有症者69例、うちHUS 1例）
三重県43例*、福岡県12例**、[*うち42例が第22週から続く三重県の複数の学校（中学・高校）におけるO157VT2の集団感染、**うち7例が第23週から続く福岡県の保育園におけるO157 VT2の集団感染]、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎6例[*第22～24週の当該週の報告数は、それぞれ5例、5例、6例であった。第10～24週の累積報告数は210例（劇症肝炎6例、うち死亡1例）となり、都道府県別では、福岡県26例、東京都25例、広島県24例、兵庫県16例、埼玉県13例、神奈川県12例の順に多い。]、つつが虫病3例、デング熱4例、日本紅斑熱4例、ブルセラ症1例、ライム病1例、レジオネラ症7例

5類感染症：アメーバ赤痢7例、ウイルス性肝炎3例（B型:2例、C型:1例）、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群16例（AIDS 7例、無症候9例）、ジアルジア症3例、梅毒10例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん2例、麻しん3例

報告遅れ：パラチフス1例、つつが虫病1例、レジオネラ症2例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例

◆百日咳

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告数に基づいて百日咳の患者発生状況の分析を行っている。2010年第24週の週別の患者報告数は288例（定点当たり報告数0.09）と前週の報告数（220例）を大きく上回った。都道府県別では、千葉県34例、東京都34例、神奈川県32例、茨城県29例、栃木県20例、大阪府16例、埼玉県11例、新潟県11例、福岡県11例の順となっており、関東地域に報告数の多い都県が集中しているが、大阪府、新潟県、岩手県等他の府県においても報告数の増加がみられている。

2010年第1～24週までの累積報告数は2,421例であり、男女別では男性41.3%（1,001例）、女性58.7%（1,420例）と女性の報告割合が高く、0歳児では男性の報告割合が高いものの、20歳以上では女性の報告割合が60%以上を占めている。年齢群別では、20歳以上51.3%（1,241例）、0歳9.3%（226例）、1歳4.6%（111例）、2～3歳8.2%（198例）、4～5歳7.6%（185例）となっている。小児科定点からの報告であるにもかかわらず、20歳以上の報告割合が年々増加し、2010年では半数以上となっているが、19歳以下で最も多数を占めているのは0歳児である。

感染症情報センターでは、成人層を中心とした患者発生状況の実態をより明らかにすることを目的として、2008年5月から「百日咳DB：全国の百日咳発生状況」を立ち上げ、感染症発生動向調査とは別に解析を行っている。2008年5月8日から2010年3月12日までに同DBに報告された779例（後に百日咳を否定された2例を除く）においても同様に、20歳以上の報告数が多くを占めている。

2008年は第22週、2009年は第20週がピークとなり、以降は減少傾向となったが、2010年は第24週まで増加傾向が続いている。百日咳はワクチン未接種の乳幼児が罹患した場合には重症化しやすく、ことに新生児乳児では生命に危険が及ぶことも稀ではない。本症はかつては乳幼児を中心に夏季に流行する疾患であったが、最近では成人層の患者発生の割合が年々高くなってきており、2010年には半数以上を占めるに至っており、小児への感染源としても危惧される。今後とも百日咳の発生動向には注意が必要である。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(25週)	高知県(26週未累計) H22/1/4~H22/7/4
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ									196 (0.04)	2,546 (53.04)
小児科	咽頭結膜熱		2	1		2	3	8 (0.27)	6 (0.20)	1,033 (0.34)	54 (1.80)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			28		1	3	32 (1.07)	29 (0.97)	4,646 (1.54)	569 (18.97)
	感染性胃腸炎	11	16	31	9	5	11	83 (2.77)	90 (3.00)	14,203 (4.69)	6,648 (221.60)
	水痘	3	12	23	8	5	3	54 (1.80)	82 (2.73)	6,590 (2.18)	1,189 (39.63)
	手足口病	11	67	191	37	31	30	367 (12.23)	263 (8.77)	7,743 (2.56)	1,551 (51.70)
	伝染性紅斑		3	6				9 (0.30)	10 (0.33)	1,956 (0.65)	93 (3.10)
	突発性発疹	1	2	9	2	5	3	22 (0.73)	16 (0.53)	2,058 (0.68)	307 (10.23)
	百日咳		2	2	1			5 (0.17)	1 (0.03)	208 (0.07)	34 (1.13)
	ヘルパンギーナ	2	8	39	15	10	6	80 (2.67)	61 (2.03)	8,689 (2.87)	661 (22.03)
	流行性耳下腺炎		3			2		5 (0.17)	7 (0.23)	4,518 (1.49)	130 (4.33)
	RSウイルス感染症									173 (0.06)	760 (25.33)
眼科	急性出血性結膜炎									17 (0.03)	2 (0.67)
	流行性角結膜炎								1 (0.33)	451 (0.67)	32 (10.67)
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.14)		14 (0.03)	6 (0.86)
	無菌性髄膜炎									26 (0.06)	7 (1.00)
	マイコプラズマ肺炎			2				2 (0.29)	2 (0.29)	208 (0.45)	38 (5.43)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1 (0.14)	1 (0.14)	10 (0.02)	11 (1.57)
計 (小児科定点当たり人数)	28 (14.00)	115 (16.43)	334 (30.00)	72 (24.00)	61 (30.50)	59 (11.80)		669 (22.17)			
前週 (小児科定点当たり人数)	26 (13.00)	111 (15.86)	255 (22.82)	84 (28.00)	31 (15.50)	62 (12.40)			569 (18.83)	52,739	14,638 (452.91)

定点当たり

第26週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(25週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ									0.04
小児科	咽頭結膜熱		0.29	0.09		1.00	0.60	0.27	0.20	0.34
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2.55		0.50	0.60	1.07	0.97	1.54
	感染性胃腸炎	5.50	2.29	2.82	3.00	2.50	2.20	2.77	3.00	4.69
	水痘	1.50	1.71	2.09	2.67	2.50	0.60	1.80	2.73	2.18
	手足口病	5.50	9.57	17.36	12.33	15.50	6.00	12.23	8.77	2.56
	伝染性紅斑		0.43	0.55				0.30	0.33	0.65
	突発性発疹	0.50	0.29	0.82	0.67	2.50	0.60	0.73	0.53	0.68
	百日咳		0.29	0.18	0.33			0.17	0.03	0.07
	ヘルパンギーナ	1.00	1.14	3.55	5.00	5.00	1.20	2.67	2.03	2.87
	流行性耳下腺炎		0.43			1.00		0.17	0.23	1.49
	RSウイルス感染症									0.06
眼科	急性出血性結膜炎									0.03
	流行性角結膜炎								0.33	0.67
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.14		0.03
	無菌性髄膜炎									0.06
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.29	0.29	0.45
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.14	0.14	0.02
計 (小児科定点当たり人数)	14.00	16.43	30.00	24.00	30.50	11.80	22.17			
前週 (小児科定点当たり人数)	13.00	15.86	22.82	28.00	15.50	12.40		18.83		

2010年週報推移(定点当たり)

